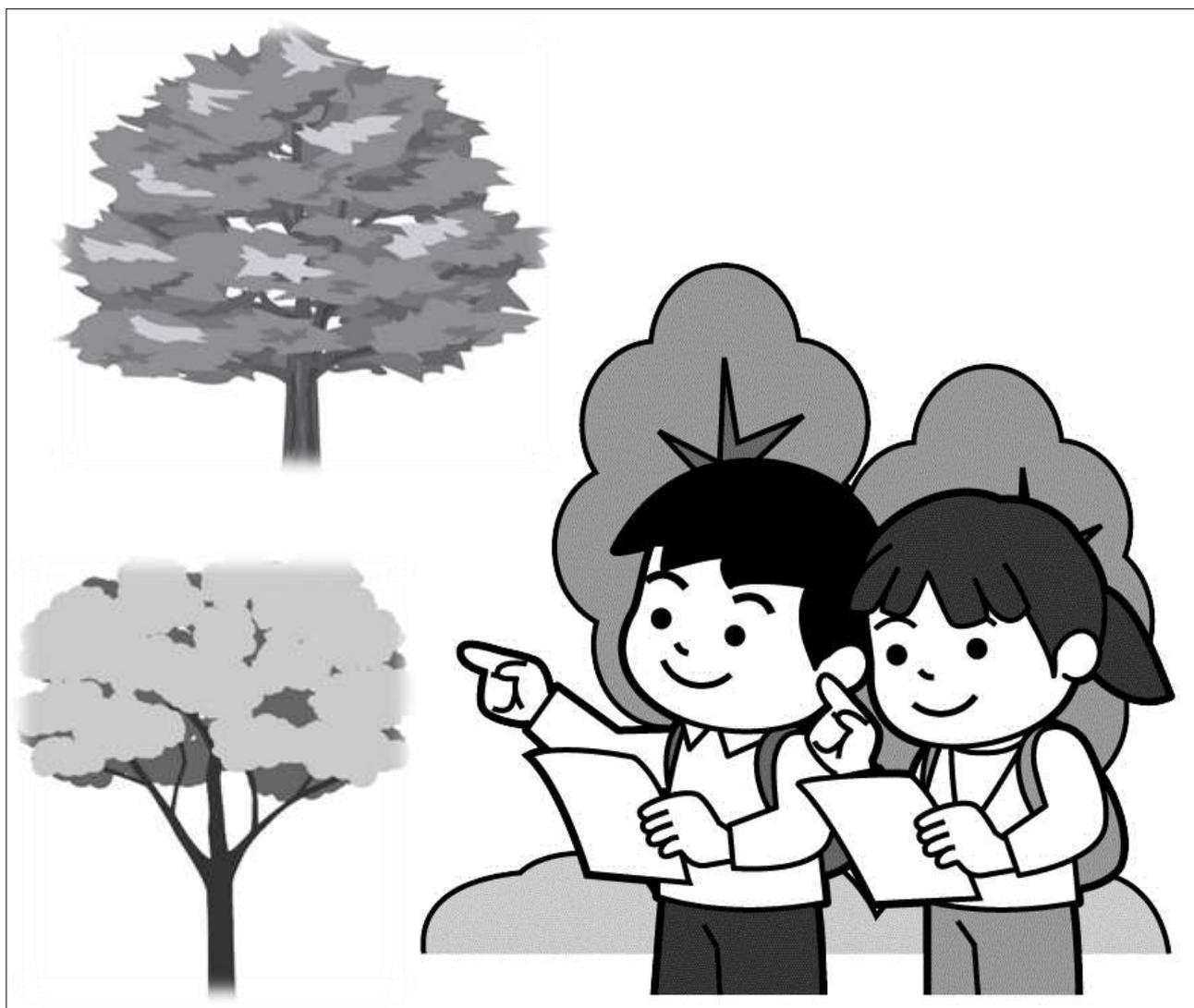


## 樹木にふれよう

☆樹木をさわってお気に入りの1本を見つけ、みんなに特徴を伝えよう



# 樹木にふれよう

## 1 活動の概要

同じように見える樹木でもよく観察すると種によって葉や樹皮の様子が異なります。それら樹木を実際に手で触れて観察することで、より詳しく特徴をつかむことができます。

はじめに、施設内の里山を思い思いに散策し、自分のお気に入りの樹木を見つけます。その樹木を手で触れるなどして詳しく観察します。散策が終わると、グループ内でその樹木について発表し合います。樹木の特徴を言葉で級友に伝えることで表現力が磨かれます。

樹木を観察し、葉や樹皮を触ることで五感のうち「視覚」、「触覚」と「嗅覚」を特に活用する自然にふれる活動です。

## 2 活動の目的

里山に植生する樹木を実際に触ることで、樹木の様子や多様性に気づくとともに、野山の散策を通して自然の事物への興味関心を高めさせる。

また、自然学校終了後にも更に身近な環境の自然を調べて回るといった意欲や態度を養う。

## 3 準備するもの

- (1) 用箋ばさみ・ワークシート（人数分）
- (2) 南但馬自然学校施設内地図（人数分）
- (3) ポリ袋（人数分）
- (4) 濃い鉛筆（2 B以上）（人数分）
- (5) セロハンテープ（グループの数）

## 4 人数／場所／時間

- (1) 人数：散策・活動は1人、ふりかえりは1グループ5名程度
- (2) 場所：自然観察館、工作室
- (3) 時間：80～90分

## 5 活動の手順

- (1) 興味と関心を高めます。

・指導者がクイズや講話を短時間で行います。

(例) Q : 「南但馬自然学校の中に、インドでは神様の木と言われる木がありますが、それは何という木でしょうか。」

A : 「ヒマラヤスギという樹木です。」「クリスマスツリーのように美しい三角形の形をしていて、天に向かって真っ直ぐ伸びる姿からそう言われるようです。」

解説：「このヒマラヤスギも近づいてよく観察してみると、樹皮がスギの木とは違う様子が分かります。樹皮がパイナップルの表面のようになっています。実は、ヒマラヤスギはスギの仲間ではなく、マツの仲間なのです。その証拠に、マツボックリができるのです。このように、樹木は名前だけでは分からないことがあります。今日はたくさんの樹木に近づいて実際に手で触って、特徴を調べてみましょう。」

(2) 施設内地図やワークシートを配り、やり方を説明します。

- ①気に入った樹木を、樹木プレートを参考に名前を確認します。
- ②ワークシートに樹木の特徴や気に入った理由などを記入します。
- ③ワークシートに枝や葉、実などを貼付けたり、樹皮を写し取ったり（樹拓）します。  
※枝や葉などはポリ袋に入れておき、部屋に戻ってきてからセロハンテープで貼付けます。

(3) 安全指導を行い、活動範囲や活動時間を説明して活動を始めます。

「活動場所は、施設内地図の〇〇から〇〇の範囲です。」「散策する時間は〇分です。(40～60分)」

「途中、スズメバチやヤマビルなど危険な生き物には十分注意して観察してください。」「

「それでは行きたい方面が決まった人から出発しましょう。」「

※人数が多い場合は、指導者が出発する順番を指定しても良いでしょう。

(4) 活動を振り返ります。

- ①グループ（5人程度）内で、調べた樹木について発表し合います。
- ②発表を聞いて気づいたことをワークシートに記入します。
- ③クラス全体で、数名が発表します。
- ④指導者による講話をします。

→児童の気づきへの評価とともに、植物の多様性への理解や自然保護につながる内容を心がけます。

(例)「お気に入りの樹木が同じ人でも、気に入った理由は人によって異なることに気づいた人がいましたね。とても良いことに気づくことができました。また、同じような葉の樹木でも、樹皮の様子が違ったり、実の形が違っていたりすることに気づいた人もいましたね。このように、樹木や植物には本当にたくさんの種類があります。学校に帰ってから近くの樹木を観察してみると、きっと新しい発見があるでしょう。」

(5) 活動した感想を書きます。

#### ★南但馬自然学校にある代表的な樹木

樹木名	形状	場所	利用	その他
スギ	常緑針葉高木	全域	建築材	葉は良く燃える
ヒノキ	常緑針葉高木	全域	建築材	良い香り ヒノキ風呂
ケヤキ	夏緑高木	施設域	建築材	高級木材 固い
アベマキ	夏緑高木	全域	コルク材	大きなドングリ
アラカシ	常緑広葉高木	全域	庭木	ドングリ
イロハモミジ	夏緑高木	施設域	庭木	紅葉が美しい
アカマツ	常緑針葉高木	全域	建築材	薪は良く燃える
モミ	常緑針葉高木	全域	パルプ材	カマボコの板
クスノキ	常緑広葉高木	クスノキの館	樟脳（防虫剤）	カンフル、街路樹
カツラ	夏緑高木	芝生広場	街路樹	落葉が香る
クヌギ	夏緑高木	施設域	建築材	シイタケのほだ木

## 6 指導上の工夫と留意点

- (1) ワークシートではお気に入りの樹木を1本選んで観察するようになっていますが、時間の許す限り様々な樹木を観察するように指導しましょう。
- (2) 樹木の大きさ、樹皮や葉の様子などを観察させましょう。また、針葉樹と照葉樹の葉の形の違いなどに気づかせましょう。
- (3) 樹木の中には樹木プレートがなくて児童には名前が分からないものもありますが、「〇〇に似ている木」などと表現してもかまいません。
- (4) 自然に対するローインパクト（自然に与える影響を最小限にとどめる）の精神を説明し、必要以上に植物を傷つけないよう指導しましょう。

## 7 安全上の留意点

- (1) カエンタケやツタウルシなど有毒植物やトゲのある植物について手で触らないよう事前に注意喚起しておきましょう。
- (2) 服装は、帽子、軍手、長袖・長ズボン、運動靴の着用が必要なことを説明しましょう。
- (3) 活動範囲と活動時間をはっきりと説明しておきましょう。活動範囲に指導者を適切に配置しましょう。

## 8 まとめ

直接樹木を触って観察することで、これまで気がつかなかったことを学習することができます。また、ふりかえりの場面では、お気に入りの樹木を相手に伝えることで言語活動が活発になり、相手の発表を聞くことにより互いの表現力を切磋琢磨することができます。

この活動がきっかけとなって、身近な環境の樹木など自然についても関心が高まり、もっと調べてみようという意欲が高まるかも知れませんね。

### ◆◆ 各教科等との主な関連 ◆◆

<b>事前指導</b>	身の回りの自然（樹木）について	<b>国語科</b>	情報の扱い方に関する事項③ 身の回りの生物③、季節と生物④
<b>自然学校</b>	自然（樹木）にふれる活動	<b>国語科</b>	話すこと・聞くこと③
		<b>理科</b>	言葉の特徴や使い方に関する事項⑤⑥
		<b>図画工作</b>	「比較」「関係付け」 「多様性や共通性の視点」 「表現」
<b>事後指導</b>	身近な自然（樹木）を調べる活動	<b>社会科</b>	我が国の国土の自然環境と国民生活との関連⑤
		<b>特別の教科 道徳</b>	生物と環境⑥  「自然愛護」「感動、畏敬の念」

※（ ）内の○数字は、学年を示しています。

南但馬自然学校アクティビティシート 令和3年

編者・発行 兵庫県立南但馬自然学校

〒669-5134 兵庫県朝来市山東町迫間字原 189

TEL 079-676-4731 FAX 079-676-4008

このアクティビティシートの様式は、(公財)日本教育科学研究所が発行するIOREシートを参考に作成したものです。

じゅもく  
樹木にふれよう ワークシート

くみ はん  
組 班

なまえ  
名前

(1) あなたのお気に入りの樹木について、次のことについて観察してみましょう。

<p>じゅもくめい 【樹木名】</p>	<p>えら りゆう 【選んだ理由】</p>	
<p>あたらし じゅもくめい 【新しい樹木名】</p>	<p>なまえ いみ 【名前の意味】</p>	
<p>じゅもくぜんたい ようす &lt;樹木全体の様子&gt;</p>	<p>じゅひ ようす &lt;樹皮の様子&gt;</p>	<p>は ようす &lt;葉の様子&gt;</p>
<p>た とくちよう &lt;その他の特徴&gt;</p>		
<p>(ここには葉や実などをはりつけるか、樹皮の様子を鉛筆で写し取りましょう。)</p>		

(2) 友達の発表を聞いて気づいたこと、分かったことを書きましょう。

<p>Blank area for writing answers to question 2.</p>
--